

# 私たちの税金 使いみちに 市民の声を

## 予算要望書

市民ネットワークちばでは毎年、市民の皆さんから寄せられた課題や、ネットの政策に沿った事業を実施するための予算を配分するよう、市が予算編成を始める9月末に要望書を提出しています。

## 千葉市の予算が決まるまで

10月上旬…予算編成方針を市長が決定し、月末には各局から新年度の予算が要求される。

11月から12月…財政局が必要性・緊急性などを検討して事業を採択。

1月中旬…財政局長が査定し、予算計上案を市長に報告。市長は予算案を各部署に提示し、各局から再調整の復活要望が出される。

1月下旬…市長査定の結果が各部署に通知される。

2月中旬…予算案が公表される。

3月…議会での審議・議決を経て予算が成立。

## 要望書を市長に手渡し

毎年7月半ば頃、前年度の要望に対しての回答が市から届きます。これをもとに、未だ反映されていない課題や新たな問題について予算化するよう求めます。要望書作成は、市政全般にわたって事業を精査します。そこで、まさに「市事業のたな卸し」といったところでしょうか。運営委員に加えそれぞれテーマを持って活動している方々にも意見を聞き、要望書に反映させます。予算

要望書は代理人（市民ネットワークの市議会議員）を通して市長に面談の上、手渡しして、市各局に届けられます。

## 昨年度の要望で取り入れられたもの

- ◆災害発生時、市民への情報提供を行うようJR等と協定を結ぶ
- ◆ひとり親がファミリーサポートを利用する際、所得に応じて利用料金の一部を市が補助する
- ◆住宅への太陽熱利用システムへの補助
- ◆木造住宅の耐震性を高めるための補強工事の助成枠の増加
- ◆学校給食食器の洗浄に石鹸を利用する

「税金の使い方は市民が決める」という信念のもと、市民ネットワークちばが政策の柱に据える「命と人権の尊重、情報公開、財政健全化、環境保全」などを具現化するために声を上げています。予算要望書は、市民ネットワークちばの、政策実現に向けての最も重要な取り組みの一つといえます。このような私たちの活動に、あなたもぜひご参加ください。

## これまで予算要望書で取り上げて実現した主な事項

- ◇補助金の見直し
- ◇予算編成過程の公開
- ◇あんしんケアセンターの増設
- ◇飼い主のいないネコの不妊・去勢手術頭数を増やす
- ◇保存樹木の登録を進め、特別緑地保全地区の指定区域を広げること
- ◇脱焼却を目指し、3清掃工場体制から2清掃工場体制へ
- ◇化学物質の使用を極力抑えることを目指し、農薬などの使用指針の策定
- ◇子どもの施策に特化した部局の設置
- ◇自転車専用レーンの整備

市民ネットワークちば政策室長

小西 由希子

## 各区の抱負

### わかばネット

「市民ネットワーク運動や代理人活動を多くの人に伝え、活動に参加する人を増やす。地域の抱える課題を、代理人、当事者、区民など、多くの人と共有し、解決に向けて行政に働きかけていく」。わかばネットが、活動方針の冒頭に掲げている言葉です。

これらを実現するための手段は、『まちづくり通信』を作成して配布したり、市議会傍聴ツアーや、おしゃべり会を企画するなど、いろいろ考えていますが、手段イコール目的になってしまわないように、方針を思い出しながら2013年も元気に活動していきたいと思っています。その結果として市民ネットワークの活動に参加する人が増えることを期待しながら。



わかばおもしろツアー(富田町)

### みはまネット

美浜区は2011年の東日本大震災の被害が大きく、今もその影響が残っています。今年度は避難所問題も含め「防災」をテーマに、放射能被害や自然エネルギーも視野に入れ、調査や提案をしていきたいと考えています。

毎月第3土曜日に開催している「政治カフェ」を充実させ、地域課題を解決していき、政治をより身近なものにしていきたいと思っています。

そのほかに、毎月開催している「ネットふれあい市」「歌カフェ」「読みカフェ」「手作りカフェ」などに参加する人を増やし、ネットの活動を充実したものにしたいと思います。そして、一人ひとりの市民が人任せではなく、自ら関わっていく政治を更に広めていくことが大きな課題です。



福島原発訴訟団への参加呼びかけ

### いなげネット

昨年の衆議院議員選挙の結果を受けて、いまこそネットが掲げてきた「おまかせにしない政治」が問われています。結果に絶望せずに、できることを一緒にやってみましょう！今年のいなげネットは、運営委員も新体制となり、子育て世代が中心となりました。そこで、障がいのある子どもと地域との関係について、現状と課題を調査していきます。5月には稲毛区市議会議員補欠選挙もあるため、候補者になる人や、一緒に活動してくれる仲間も募集中です！

### 花見川ネット

私たちの存在意義が問われている。市民ネットワークの存在意義はなんだろう？

福島原発事故後の放射能汚染、健康被害問題などを調査・学習し、事故後の現状を正しく把握していきたい。東海原発からわずか80kmの千葉市である。被災地や被災者となつながら、思いを共有したい。自民党政権となり、右傾化が目立つ中、脱原発・戦争はしたくないという市民の声をどうしたら政治に届けられるのか?!地域で活動をする人々とネットワークを組み、考え、行動していきたい。

### 中央ネット

通信の配布や、地域でのいろいろな活動を通して、中央ネットを支えてくださっている方たちとのつながりを深めるため、ミニ学習会の講師をお願いして、事務所に来ていただくきっかけづくりをします。住み続けたい千葉市にするため、気が付いたことはしっかり発信し、共に動ける仲間を増やしたい。地域の避難所運営委員会に参加したり、補助金の使われ方について検証することなどで、議会での質問にもつなげていきたいと思っています。

市民ネットワークちば  
中央・いなげ・花見川・みどり事務所

中央区中央 4-10-11 アイビル 5F  
TEL 201-2551 FAX 223-7701

わかば事務所

若葉区都賀の台 4-5-15  
TEL 284-2339 FAX 284-2362

みはま事務所

美浜区高洲 1-24-2 千葉市不動産会館 3階B  
TEL 278-5005 FAX 278-5005